

市議団市政アンケートに寄せられた要望 [前原・貫井南を中心に]

= 一通に記された要望(いつも記されたモノ多数あり)。個人の感想等は除外。

児童館の幼児グループみたいな活動を、1歳前後からでも参加できる会をつくってほしい。例えば、週1の活動(30分~1時間)で、手遊びや運動、工作などを予約不要で。引っ越す前の江東区や江戸川区では、そのような活動があった。

前原町1-7付近の「かつや」と「ファミリーマート」の間の道がデコボコの砂利道で、ベビーカーや車も通りづらい。住宅街への路地ですが、そこそこ人通りがあるので、ボコボコを直してほしい。

汚れの多少ついたプラゴミ(お弁当の入れ物や、レトルトパックなど)は、不燃ではなく可燃にしてほしい。最近、中前橋、新前橋付近がゴミ捨て場になっているような気がしてならない。

市長への手紙にも書いたが、幡随院の東側の歩道がデコボコで、穴も開いていて、高齢者で杖をついた人が転倒するリスクが高いし、シルバーカー等もガタガタして不安定。まったく改善されない。そこを上がった市役所の西側が喫煙コーナーになっていて、いつも受動喫煙に悩まされている。東側の駐車場側に移すなりしてほしい。

「ひきこもり」は、制度の狭間で対応できる部署が就労支援の窓口しかない。まず「就労ありき」では追い詰めることになる。居場所づくりを考えてほしい。

歩行者用道路と車道との段差を、できるだけ少なくしてほしい。自転車や車椅子用に部分的でもスロープ化など。

緑地の看板が数年前から字が消えていて、ただ立っているだけの意味のないものになっている。市内をハイキングする人から、「ここはどこですか」と何度も聞かれ、市民として恥ずかしかった。撤去するか字を入れるかすべき。荒れた公園に見える。

「いんこ」が大発生し、梅の蕾や桜の蕾を食べてしまっている。その「いんこ」を庭先で餌をやり、餌づけている家もあり困っている。市として対策を考えてほしい。

東京都が多胎児家庭などへの支援を打ち出し「とうきょうママパパ応援事業」と銘打った。この支援策を小金井市でもうけられるようにしてほしい。各自治体がこの制度を使うとしなければ、使えないので。昨年末から幾度から報道されているように、多胎児家庭を取り巻く環境はとても厳しい物がある。妊娠時のハイリスクから、出産直後から始まる乳児2人(3人)のお世話。小金井市の多胎サークルでもみなさんが非常に苦労している話がでている。都のこの制度を利用できれば、より安心して子育てすることができるファミリーサポートセンターの“ファミサポ”サービスを、より使いやすくしてほしい。現在のファミサポは事前に説明会へ行き、利用者登録する必要がある。しかし、首も据わっていない乳児をベビーカーに乗せて説明会に参加することは、保護者にとって到底不可能で、登録を諦めている人も一定数いる。単胎家庭においても、何らかの事情がある人は登録できないと思う。せめて電話での登録、在宅訪問という形を取り入れてもらえればと思う。

産後の新生児訪問は原則一回だが、費用がかかってかまわないので、希望者は週1~2回、~月1回の利用ができればと思う。

ヘルパー事業は日中の家事支援が目的だが、どうしても小さく生まれたり、同時に2人授乳する際など、トラブルや悩みは沢山ある。そういった相談に気軽にのってもらえる保健師さんの存在は大きい。

多胎家庭はどうしても妊娠時ハイリスクがともないやすく(そもそも多胎妊婦はハイリスク妊婦と位置づけられている)、妊婦健診の回数も単胎に比べて多くなる人がほとんど。現在の助成券14回分では足りない人も多いのが実情。18~20回まで助成券を増やしてもらえると嬉しい。

入院や治療を行なう人も多くなかで、一回3,000円~かかる診察は本当に辛い。大きなお腹で公共交通機

関を使うリスクはとて大きく、タクシーを使用して通院する人も多い。タクシー助成券などの通院に対するサポートの充実を望む。小金井市は多胎家庭に向けての支援が少なく困っている。

前原三郵便局前の道路がデコボコで、暗い時間帯は小さい子連れで歩いたり、妊娠中や荷物を持っている等、足元が見えにくい時、自転車に乗ったりして通るのに不安がある。

子乗せ電動自転車を駐輪しやすい駐輪場を増やしてほしい。

質屋坂の脇の石塀が、地震で崩れないか心配。

側溝蓋がない道路は蓋をしてほしい。

前原坂下より南の小金井街道は、自転車で通るには狭くて怖い。

宮地楽器ホール等に、おむつ自販機がほしい。

今後、ダブルケア、トリプルケアにあたる人も増えてくるかもしれない。そんななか、「育児支援＝共働き支援」ばかりになっている社会の雰囲気にもややしている。

今回の「一斉休校」の影響で、私の第一子(5歳)の通う幼稚園(市外の私立)も長期休園になった。下に3歳の未就園児と0歳児がいて、突然増えたワンオペ育児の負担に疲労がたまっている。虐待リスクが高まっている時期であると、みなさんにも認識してほしい。

インフルエンザの登園(校)許可証や一時保育登録のための診断書などのために小児科を受診するのは、負担やリスクが大きい。治療の必要がない受診を減らすよう、学校や園に働きかけてほしい(那須地区の受診報告書を参考にするなど)。

小金井の緑をつぶすような都道は絶対反対。

図書館の蔵書は古いものが多い。開館時間が他市より遅いのは何故か。

「市報」「議会報」等の視力障害者向けの音訳をしている会の者です。市の仕事のお手伝いをしているが時間・機材等はかなり個人負担のかかる作業。録音場所は個人宅で行なっている。小金井市には適切な録音場所がない。近隣の武蔵野市、清瀬市等は、市できちんとした防音のきいた録音室がある。小金井市は図書館のリース(2台)だけで、会の機材は会費で購入し、各家庭で録音しているので、全員が録音機材を自費で買っている。他市をご覧いただき、検討願いたい。

数年前まで母がいた。補聴器を使用していたが、値段の高いのにはびっくり。昨年より医療費控除ができると聞いたが、それも聴力の下限があり、全員が控除できるとはかぎらない。補聴器の補助金があれば大変助かると思う。

小金井の自然環境を破壊する道路は必要ない。小金井の自然環境を必ず守ってほしい。

野川・七軒家循環は30分間隔で運転している。乗車可能人員は補助席含めて11名。時間帯やバス停によっては、乗車できない時があり、運行間隔をせめて20分間隔にしてほしい。

不必要な小金井3・4・1号線および3・4・11号線の整備反対運動を継続して続けてほしい。

通学路に生け垣や樹木の枝が出すぎている箇所が見受けられる。責任は個々人にあることは承知しているが、市としても注意を促してほしい。

同居はしていないが、市内に娘家族が住んでおり、小学生を頭に3人の子どもがいる。年末に近づくインフルエンザ予防接種を近くの医院でお願いしている。経費は3,500円(医院によっては額が多少違うみたい)×2回×3人=21,000円となり、家計の負担は少なくない。昨今、少子化対策が国会等でも話題になり、子どもは国の宝と考えているならば、インフルエンザの予防接種も無料にしてほしい。高齢者は2,500円で接種できるが、将来を託す子どもたちのための予防接種を最優先すべきではないか。一部負担金制度でもよいので。

多磨霊園の出口にすべて横断歩道を設けてほしい。正門と裏門にはあると思ったが、それ以外の出口の所にも。多磨霊園は通勤・通学の通り道であったり、散歩やマラソンをする人もいて、正門・裏門以外の出入り口を通行する人がけっこういる。出入り口に入るとき、横断歩道のない霊園通りを渡ることは危険。

台風の際に「避難してください」のアナウンスが車から放送されていたが、何となく聞こえるだけで、内容は聞き取りづらかった。台風の際は窓を締め切っているし雨もすごいので、適した媒体をつかってアナウンスしてほしい。避難所に指定されていたところは、ハザードマップで見ると浸水するエリアだったので、避難所の指定場所は間が直したほうがよい。

この前、車椅子のおじいさんが1・くらいの段差を自分の力で乗り越えられなくて困っていた。横断歩道から歩道に切り替わる部分。

図書館の開館時間を延ばしてほしい。

図書館の蔵書が少ない。利用時間が短い。司書の方の対応はよいのに残念。

武蔵野公園のトイレを上った所のT字路に信号がなくて渡れない。

駅周辺以外にスーパーマーケットがほしい&街灯を増やしてほしい。

小金井街道の歩道を自転車がビュンビュンとばしていることが非常に危険だと思う。

歩きたばこ、たばこのポイ捨てが多い。とくに小金井街道の脇の道、はけの森付近の駐輪場近辺。

バリアフリーのまちづくりにとくに関心あり。高齢者になってみて、道を歩く時に公道にとくにデコボコが激しく感じる。

夫婦で高齢者の私たちは、日々話が聞きづらくなっているので、補聴器の補助があると助かる。医療費負担の軽減もぜひお願いしたい。

武蔵小金井駅南口のトイレの東側にあるガードレールは、ドライバーにとってすごく危険に感じるので、取り除いてほしい。

質屋坂通り(前原町3-41付近)のタイル?の所がデコボコで歩きにくい。自転車も勢い良く下りてくるので、デコボコのところで倒れてこないか怖い。

子どもたちが安心して伸び伸び遊べる場所がほしい。家からちょっといったところにある遊具のある公園
小金井には本当に少ない。トイレもほしい。

南小学校の通学路になっている箇所の中で、・カーブミラーが壊れている箇所、・ミラーがなくなっている箇所、・カーブミラーのほしい箇所があります。安全のため、早めに対策してほしい。

私は小金井が好き(緑いっぱい、ほのぼのしている感がある。生まれ育った場所)だから、子育ても小金井でたくて住んでいる。が、近隣市町村からしてみても、残念なことばかりで、ついつい愚痴ってしまういまは子育て中なので、その点を充実してほしいが、高齢になったら、子ども又は私が障害をもったら、あそこがここがと沢山出てくるのではないかと思う。これからも住み続けたいと思っているので、ちょっとずつでいいから、老若男女、住みやすいステキな街にしてほしい。

医療費無料化をせめて小学校6年生まで拡大してほしい。

図書館の読書・勉強スペースをもっと増やしてほしい。本の種類も少ない。府中市は専門書も多く、そちらに借りにいくこともある。府中中央のようになれば、市民の意識も高くなる。

はけの道に道路を通すのは絶対にやめてほしい。市民の、また、市のほこりの場。短期的な利便性に流されず、長期的な人々の幸せを考えてほしい。

イトーヨーカドー前、共立診療所の辺りに信号はいらないでしょうか?。自転車が飛び出して危ない。

ゴミ処理の問題は、日野に3市合同の処理施設をつくり解決したのか。増えるゴミをきちんと処理するという発想から、極力ゴミを出さない循環型の社会のあり方を考える必要があり、これを取り組むために、小金井市の取り組みから、都なり国なりに具体的に根気強い投げかけをしてみてもどうか。

小金井市は自然環境がよく、犬を飼っている人が多い。散歩の時にフンの始末をせず、道端が汚い状態には我慢できない。“フンの始末をしてください”の立て札を各家の前に立てられるよう、市に提供してほしい。

ココバスの南側コースは、武蔵小金井駅、新小金井駅、東小金井駅が一つのコースに入る循環型を。

小金井市に設置されているカーブミラーは、雨が降ると曇ってまったく見えず危険。曇り防止機能のカーブミラーもあるので、危険な場所、事故が多い場所は換えてほしい。

障害児を日曜・祝日に一時的に預ける場所がない。緑町の障害者福祉センターは月～土しか預かりができない。例えば、健常者の兄弟・姉妹の行事等(運動会、部活等)があるとき、子どもたちのお互いのためにも数時間、預かってくれる場所があるとよいと思う。

空家が多くなってきている。倒壊の恐れがあり、通行人・住民にとって危険。更地にして土地を売買したほうがよいと思う。

妊娠中から子育てが始まるといわれている。早産防止のためにも、早い段階で産休がとれるようにしてほしい。

学童保育で子ども同士のトラブルがあった場合、居場所がないのに通わないといけない状態になる。コミュニティを増やすためにも、学童保育所意外にも通える場所があればよいと思う。

大人数が苦手な生徒も稀にいる。勉強に集中できるように、小中にも特別進学コースのように少人数の学級が設置されてもよいと思う。

老人ホームで働く職員の質を高めるためにも、雇用の改善が必要。

認知症は支える家族、職員の負担が大きい。認知症になる前の予防が重要。例えば手先を使うセミナーを開催したり、通学路の見守りなどのボランティアをお願いしたり。

ワンオペ外出時、障害者を連れての移動が大変な時、ガイドヘルパーのように付き添いサービスがあると外出が楽しめる気がする。

駅前を開発するのはよいと思う。しかし、どこの街も代わり映えのしない街はどうかと思う。コンビニチェーンスーパー、チェーン飲食店のある街ではなく、緑・公園・大学といった小金井ならではのキーワードを活用した開発を望む。

第一弾 / 4月12日現在